

地域医療支援病院運営委員会および地域協議会 議事録

開催月日	令和4年11月2日(水) 18時25分～19時15分		
開催場所	JCHO 北海道病院 講堂		
委員長	梁詰徹彦先生	事務局	総合支援センター：兼子 大宮
委員出席者 (敬称略)	〔外部委員〕 梁詰 徹彦 (札幌市医師会豊平支部 副支部長) 松根 龍一郎 (札幌薬剤師会 豊平・清田支部長) 向 俊孝 (札幌市民生委員児童委員協議会 理事) 〔当病院職員〕 古家 乾 (JCHO 北海道病院 病院長) 数井 啓藏 (JCHO 北海道病院 副院長兼総合支援センター長) 檜館 和則 (JCHO 北海道病院 事務部長) 鈴木 千春 (JCHO 北海道病院 看護部長)		
委員欠席者 (敬称略)	〔外部委員〕 佐藤 恵 (腎臓内科めぐみクリニック院長) 中西 香里 (豊平区役所保健センター 札幌市豊平区保健福祉部長) 佐々木 泉顕 (佐々木総合法律事務所)		
要旨	議題 1. 当病院の地域医療連携の現況報告 ① 一日平均患者数の推移 ② 紹介患者数・紹介率、逆紹介患者数・逆紹介率の推移 R4. 6月の紹介率が82.3%と大幅に増えているが要因は？ →5月コロナのクラスターで調整をしたケースの反映、乳腺外来が開始された事が影響していると考えられる。 ③ 月別手術・内視鏡・分娩件数 今回循環器科のカテーテル治療・手術についても報告した。 ④ 共同利用 事務局兼子より梁詰委員長へ→現在当院の放射線科(CT、MRI、RI)の予約は月・木の枠だが、患者の予定と合わず紹介に影響がないか質問。現時点では特に影響がないとの回答。古家院長より自施設の患者と共同利用がうまく共存できるような調整を検討したい意向が伝えられた。 2. 地域講演会開催実績/病院公式 YouTube ちゃんねる投稿動画一覧 コロナ禍でオンライン形式の講演会開催が続いていたが、出向がなくても受講できることに高評価もあった。また、総合支援センターで作成した身寄りがない方に向けたリーフレットを紹介。		

向委員より、地域住民から独居や身内と疎遠である事の相談が実際にあり、特に高齢者が多いと報告。民生委員の立場では対応に限界があり行政に繋ぐが、今後このリーフレットを活用し地域住民に周知に活用できるとご意見あり、介護予防センターと協力し今後連携していく。

3. 当院の新型コロナウイルス対応について

古家院長よりコロナ重点機関であっても要介護状態の患者を受け入れられない施設もあると聞くが、当院は受け入れができるよう引き続き尽力する旨を伝えた。また乳幼児のコロナワクチン接種も 11/14 以降開始と案内した。

4. 地域医療構想について

KKR 札幌医療センターと当院が役割分担し、周産期と婦人科疾患を役割分担することになる。地域の期待に応えられるよう活動していく。

4 階病棟に陰・陽圧可変の OP 室を増設工事予定。

5. その他

数井副院長より、当院が令和 3 年 6 月付けで「日本肝胆膵外科学会高度技術専門医修練施設 B」に認定されたことを報告。

次回開催 令和 5 年 2 月 1 日 18 : 30 予定